

寄宿舎だより

新潟県立長岡聾学校 寄宿舎

令和6年3月19日発行

きしゅくしゃはかせ
寄宿舎博士になろう

きょうとう みむら ようこ
教頭 三村 陽子

もうすぐ、令和5年度が終わります。今年の寄宿舎での生活はどうでしたか。初めて寄宿舎生になり自分の力でできることが増えた人、寄宿舎の生活がよりよくなるよう仲間と力を合わせて考えたり、行動したりした人、自分の目標に向けて勉強に集中した人…、一人一人が大きく成長した1年でした。今年度は感染症対策が変わり、これまでとちがうやり方で行う活動もありました。また、他校の寄宿舎とのリモート交流は、初めての取組でした。

令和6年度、長岡聾学校は120周年を迎えます。つまり、長岡聾学校は120才になります。では、長岡聾学校寄宿舎は、何才になるのでしょうか。昔、寄宿舎はどこにあったのか、舎生は何人いたのか、どんな生活をしていたのか…。調べてみるとおもしろいと思います。ぜひ、来年度は、寄宿舎の昔・今・未来を調べたり、考えたりしてみてください。

しゅうだんせいかつ まな う
集団生活で学び得るもの

りょうむ しゅにん いながわ ひろふみ
寮務主任 稲川 裕文

とうこう がっこうじゅうてんかだい
当校の学校重点課題は、3つあります。

- ①自分で考えたり、決めたりする態度が身に付いているか。
- ②健康的な生活習慣や運動・スポーツに親しむ態度が身に付いているか。
- ③語彙力や言語力、状況に応じたコミュニケーション力が身に付いているか。

寄宿舎においても、これらの学校課題の克服を念頭に置き、寄宿舎指導員は舎監と共に常日頃から取り組んできました。

「自分から体調を申し出る」「来年度の舎生会リーダーを増やしたいと要望する」「手洗い、うがいは確実に行う」「eスポーツ大会でみんな大盛り上がり」「棟会で、発表に困っている人に、さりげなく言葉を伝えて助けてあげる」等々、子どもたちのすばらしい姿が日々たくさん見られました。

寄宿舎での集団生活は、生活力はもちろんのこと、主体性やコミュニケーション力、そしてさらには他人を思いやる力なども学び得る、最高の環境であると改めて感じた1年でした。

がんばりたいこと
・好きなこと

しょうがくぶ ねん
小学部5年 女子

わたしの好きな韓国アイドルは『SKZ』です。どうしてかという笑顔がかわいいからです。その中で“ヒョンジン”と“アイエン”がかわいいです。好きな曲は『CASE 143』です。ぜひみなさん聞いてみてください。ライブに行きたいです。

こうとうぶ ねん
高等部1年 男子

ぼくががんばりたいことは、早起きです。好きなことは、昼寝と食べることです。『たこ焼き』が一番好きな食べ物で、『銀だこ』というお店のたこ焼きがおいしいので一番大好きです。

しょうがくぶ ねん
小学部4年 女子

がんばりたいことはそうじです。きれいになるからです。わたしはたたみとフロアのそうじをしています。そうじのあとはきれいになってうれしくなります。

すきなことはマンガをよむことです。『推しの子』のマンガが大好きです。

ちゅうがくぶ ねん
中学部2年 女子

わたしが頑張っていることは自分で考えて話すことです。声で話す練習や相手の口の形を見る練習をしています。文章にするのが苦手だけども、言葉を覚えて色々なことを話したいです。

こうとうぶ ねん
高等部1年 男子

ぼくが今がんばっていることは『はなしをながすこと』と『楽しい1日の目標をたてる』ことです。

わたしがず〜っと好きなものは『葬送のフリーレン』と『SPY×FAMILY』と『五分の花嫁』です。皆さん興味があったら見てみてください。

たいしゃせい

退舎生のあいさつ

ちゅうがくぶ ねん
中学部3年 女子

中一から入って3年間、高校に行くので寄宿舎も今年で最後になります。初めは慣れなかったけれど、今ではすっかりなじんでいます。皆さんと話したことが楽しかったです。最後になるけどみなさん元気でいてくださいね。